

【教育連携委員会】事業計画兼予算申請書（2024年4月～2025年3月）

事業概要	活動指標 との対応	対象	期待される効果	時期
外国籍児童生徒の日本語学習支援事業（東松山モデル）		東松山市の外国籍の小中学生、会員校の学生・教職員	来日して程無い児童生徒が、日本の小中学校での生活に最低限必要な日本語習得の支援を行うことで、児童生徒が少しでも安心して学校生活のスタートを切ることができるほか、現場教師の負担を軽減にも寄与できると考える。また、支援にあたる大学生にとっても大学では得られない学びの場となる。	通年
社会人対象教育プログラム2024～空気圧・ファクトリーオートメーションセミナー		活性化対象地域の社会人	世界的シェアを誇るトップメーカーの講義や実地演習等を含む教育プログラムを通じて、地域産業の活性化や社会人の学び直しに寄与する。	5～6月
共同FD「TJUP科目研究会を通じた教育の質向上の実践」	(1)-7	会員校教職員	TJUP会員校教職員の資質向上に寄与する。	1～3月
教育連携懇談会【フォーラム2024】	(1)-4 (2)-1	会員(大学・短期大学、自治体、事業者等) 一般聴講者	地域における教育に関するフォーラムを通じて、産官学連携による地域貢献に寄与する。	10～12月
TJUP教育支援文化講座「音楽を楽しもう2024」	(2)-4	活性化対象地域の小中高校生、一般、TJUP会員校学生	「音楽鑑賞」「部活動発表」の機会提供を通じ、活性化対象地域における教養、芸術・文化の向上に寄与する。	10～11月
自治体および事業者等会員への社会人教育・専門教育のニーズ調査	(3)-1	自治体会員、事業者等会員	地域の社会人教育のニーズを把握し、今後のプログラムの策定の一助とする。	10～12月
社会人教育・専門教育のための大学間連携科目設置検討会の準備	(3)-2	会員校	社会人教育のための大学間連携科目設置検討の一步となる。	10～3月
社会人教育プログラム設置を目指した科目研究会	(3)-3	会員校	会員校の同一・類似科目の内容を担当教員が集まり相互に研究することにより、科目の目的を再認識し、教育の質向上をねらう。	7～9月(実施) 1～3月(報告)